

◆企画名 大学を卒業するまでに身につけておきたい文章作成術(日本語で書く文章作成講座)

日 程 平成 23 年 12 月 9 日 (金)、12 月 12 日 (月)

場 所 総合学生会館凜風館 4 階 ミーティングルーム

参加者数 ピア・サポータ 54 名 (2 日間総数)

目 的

日本語運用技術の育成を目指した講座を実施する。今回の講座では、私たちが日常作成している「日本語で書く文章」を取り上げ、何を、どのように、どう書けば良いか、学ぶこととする。ピア・サポート活動を実施するために必要な「企画書」「議事録」「メール」の作成を含めて、こういった形式で、どう書けば、わかりやすく発信することができるかを学ぶことも、本講座を実施する目的である。

内 容

以下の三つの内容で構成された。

(1) 言葉を聞いて、考え、発言する

この内容に関するトレーニングとして、「問答ゲーム」が行なわれた。

「問答ゲーム」を通して

①相手の話を、興味を持って聞く

②相手の言っていることに的確に返答する

以上二点の能力が養われることで日常会話などをスムーズに進められる。

(2) 視覚情報を的確に言葉にする

この内容に関しては絵で与えられたものを文章化して相手に伝える練習が行われた。

結論として、使用する言葉によって自分の認識と相手の認識が異なってしまう事があるため、視覚情報を伝える場合は具体的に伝える必要がある。

こうすることで、自分の認識と相手の認識の違いを減らすことが出来、より正確な情報共有が可能となる。

(3) ピア・コミュニティで使用する書類の書き方

今回の講座では、「事業計画書」について主にとりあげられた。

「事業計画書」を書く上で大切なことは、

①事業の内容を推測できる「事業名」にする

②「事業名」と「目的」を的確に表現して、事業の詳細を説明する前にどういったことをしようとしているかをわかるようにする

③「事業概要」を簡潔に分かりやすく書く

感 想

今回の講座を通して思ったことは、言語を用いて相手に自分の思っていることを伝えることは非常に難しいことだということである。

こうした状況を打開するには、場面に応じた適切な表現を学習する必要があると思った。

この講座で学習、感じ取ったことを活かして今後の日常生活におけるコミュニケーションや文章作成に役立てていけるようにしていきたい。

改善点

企画班内での情報共有が上手くいっていないところがあり、当日にバタバタしたので今後は徹底してやっていきたい。